



第34回カヌー長島海峡横断大会

↑パドルで波を切り蔵之元港を目指す選手たち



↑仲間と励まし合い笑顔を見せる選手たち



↑ゴール後、選手全員で記念撮影



↑元気に選手宣誓する町田さん

パドルを操り横断目指す

島原・天草・長島間の三県架橋構想の機運を高めることが目的の第34回カヌー長島海峡横断大会が8月24日にありました。

今大会には本町のほか与論町、熊本県天草市と玉名市、長崎県南島原市の児童生徒合計55人が参加しました。

牛深港で行われた開会式で、岩切豊副町長らが選手に激励の言葉を述べた後、長島中1年町田晴さんが「練習の成果を発揮し、全員で最後まで漕ぎ切る」と元気づく宣誓しました。

雨の影響でスタート時刻が30分遅れて、選手たちは正午過ぎに牛深港を出発。応援に駆け付けた保護者らの声援を受けながら、約8キロ先の蔵之元港を目指しました。

穏やかな風と波の中、選手たちは汗を流しながら軽快にパドルを漕いでいきました。仲間と声を掛け合い、約2時間半掛けて横断しました。

蔵之元小6年竹田虹虎君は「3回目の参加で、初めてゴールまで漕ぎ切ることができた」と心地よい汗を流していました。